



3年学年だより

発行日：令和3年 2月 26日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：三浦 昌彦 NO. 9

令和2年度の有終の美を求めて

今月は南高校附属中学校 10 期生適性検査、南高校 68 期生高校入試が実施されました。南高校および附属中学校にも新しい春の足音が聞こえてきます。令和2年度の附属中学校の生活も残りひと月となりました。今年度の総仕上げをしている各学年の様子をお伝えします。

保護者の皆さま、1年間さまざまな場面でお力添えいただきありがとうございました。令和2年度も残りひと月、よろしく願いいたします。

しっぶう けいそう 疾風に勁草を知る

3年学年主任 朝比奈 康江

疾風とは激しい風、勁草は丈夫な草を指します。穏やかなときは、みな同じように見えますが、ひとたび激しい風が吹くと、弱い草は倒れてしましますが、強い草は叩かれたも叩かれても頭を上げてまっすぐ立とうとします。疾風の日こそ、勁草の真価が発揮されるのです。（「後漢書」より）

7期生にとって今年度は試練の年だったと思います。休校期間でスタートした中学校最終学年は、コロナ禍の不安の中で、集大成とも言える研修旅行や行事の中止が待っていました。

その中で、中学校だけで行われた体育祭では下級生をリードして盛り上げたり、「学校で仲間に会える」という今まで当たり前だと思っていたことに感謝したり、真摯に日常生活を送っていた姿に、この言葉を思い出しました。

皆さんはすでに「勁草」です。これから先、さらに豊かな経験を積んで根を伸ばし、枝を広げ、大輪の花を咲かせてくれると信じています。

いつもの朝の風景

2年学年主任 蛭田 真生

毎朝、廊下から各クラスの様子を眺めています。朝学活のほんのわずかな時間を活用して、ゲームやクイズで盛り上がるクラス、動画を流しながらみんなで踊るクラス、あいさつの声出しをするクラスなどなど・・・どの教室からもみんなの元気な声や楽しそうな笑い声が聞こえてきます。そんなみんなの声を聞いていると、「今日もがんばろう！」という気持ちが自然と湧いてきます。

みんなの昨年の振り返りには「何気ない日常が楽しかった」という感想が多くありました。ともすれば、鬱々とした社会のムードにのまれそうになってしまう日々でしたが、いつも仲間を思いやり、創意工夫し、毎日を精一杯楽しもうとするみんなの姿にたくさんの元気をもらった一年でした。ありがとう。

8期生の皆さん、いよいよ3年生になりますね。今年もきっと楽しいこと、大変なこと、いろいろなことがあると思います。周囲への思いやりや感謝の気持ちをいつも忘れずに、目の前のことに全力で取り組んでほしいと思います。飛躍の一年にしていきましょう！

「ありがとう」を贈ろう

1年学年主任 福田 由美

国語の授業で創作した「故事成語附属中物語」の中に、「附属中生は和して同ぜず」という物語がありました。その物語は、「相手の意見をただ否定することなく、また単純に同調することもなく、新たな提案をすることができる。それは友だちと仲良くしたいという友情と、自分の意見も貫きたいという主体性が両立する南高生らしい一面である」と結ばれていました。9期生もここまでこれたのだと、ほっとしています。不安や心配が混ざり合っただけスタートした中学校生活。さらに、みんなで、一緒に、大笑いしながら…が叶えられない日々が続きました。そんな中で、健気に精一杯附属中学校の生活になじみ、互いの良さを受けとめ認めあい、引き出しあってきた9期生。そのやわらかな感性に9期生の可能性の大きさを感じます。附属中での最初のクラスでの生活もあとわずか。ともに不安を乗り越えてきた仲間、たくさんの「ありがとう」を贈りましょう。

有終の美に向けて～終わり良ければすべてよし？～

とうとう、中学校生活最後の1ヶ月となりました。3月の登校日は卒業式を含め18日間しかありません。9年間の義務教育をどのように締めくくるかは、これからの皆さんの歩みに大きな影響を与えることだと思います。中高一貫教育校だからこそ、その意味をしっかりと考えてほしいと思います。

そこで、担任よりこれまでの歩みを振り返ってもらい、残り1ヶ月をどう過ごしてほしいかメッセージを送りたいと思います

3-1 担任：古谷 知農

義務教育が間もなく終わろうとしていますね。それを終われば自分でどのような進路をとってもいいのです。国がとやかく皆さんの進路に口を出すことはないでしょう。でも、それは裏を返せば「自分の生き方に責任をもつ」ということです。どんな目にあってもどんなに辛くても人のせいにはしない。そういう強い心をもって大人になっていくのです。3年間のお付き合いですから皆さんの「生き方」や「人間性」が少しだけわかってきた気がします。先日の面接シートに書いてくれた自分の良いところを信じて、その良いところをますます強固なものにしてほしいです。卒業は寂しいですが、それぞれの生き方でたくましくなってくれることを願っています。

最後に…

私たちは、皆さんと一緒に過ごす残りの時間を大切にしたいと思っています。普段と変わらぬ毎日の中にお互いが思いやって、お互いを大切にできたならとても幸せだなと思っています。ということで、残り18日とやかく言うこともありますが、耳を傾けて心で聴いてくれることを約束してほしい！



3-2 担任：山本 丁友

そうですか、あと18日ですか…。毎週のように席替えをし、毎日体育会のような声出しをし、暇さえあれば大した日でもないのに「節目だ」と集合写真を撮り、書くことも無いのに毎月担任へ「愛のあるメッセージ」を書き、困ったら優秀なレク係に丸投げしてきたこの1年ももうすぐ終わってしまうのですね。年度初めにも話したと思いますが、これまでの思い出が共有できない分、担任はできること全てをこの1年に詰め込んでやってきてしまいました。それに振り回されてきた3年2組の皆さん、ここまでお付き合いありがとうございました。共に過ごした時間はこの1年しかなかったけれど、「いいやつらだなあ～」と思うことや「ここは譲れない！高校行くまでにちゃんとして！」と思うことなどたくさん見えました。1年しかないからこそ、良いとも悪いことも伝えられることは全部伝えたい、そんな想いで書き続けた It's Sunny もあと18回ですか。ここまで読んでくれてありがとう。残りの日々も、皆さんが胸を張って高校に進学できるようにサポートしたいと思います。個人として、そしてクラスとして卒業の日をどんな姿で迎えたいのか共に考えていこう！！保護者の皆様も、義務教育の残りの日々をどうぞ引き続き見守っていてください。よろしくお願いたします。



3-3 担任：高仁 環

中学最後の期末試験。中学最後のテスト返し。中学最後の〇〇。いろいろと最後の〇〇が多くなっていくのころです。

いつもの変わらない日常がいつまでも続くことはありません。

でも、いつもと変わることのない「のほほん」として、このクラスのまま3月25日を迎えたいなと思っています。毎日の普段の日常を大事にし、日々笑顔で残りの日を過ごしていきましょう。

今年もきれいな桜が咲くのかな？

2月3日教室から撮影した朝日の写真です。→



3-4 担任：山形 拓也

「隣の人、あるいは前後の人で席に座っていない人はいますか？」

「…………… (反応なし。)」

という、あの何とも言えない空気の中行われる毎朝の出欠確認。「誰か何か言えよ！」って思いつつも、誰も反応しないことこそが、このクラスの“元気”の象徴なのだと思うと、今では愛すべき、日常のワンシーンとなりました。

明日以降も、大した反応のない毎朝の出欠確認が続くことを願って、卒業に向けたあなたたちに、この言葉を送りたいと思います。

「現状維持」

ラスト1か月を切った中学校生活です。最後の日を胸を張って迎えることができるよう、7期生らしく。4組らしく。そして、あなたらしく。これまでと変わることのないありふれた毎日を、これからもみんなで楽しく過ごしていきましょう。

毎年のことですが、今年も大好きだと思えるクラスに巡り合うことができ、幸せ、現在進行中です！！
最後までよろしくね。



【お知らせ】

○南高校への進学に関する書類の提出締め切りは、3月1日（月）です。同封されている「新入生のしおり」を参照の上、書類の作成をお願いいたします。何かご不明なことがございましたら、南高等学校事務まで、お問い合わせください。

○南高校への「令和3年度入学予定者保護者説明会」は、現時点では予定通り開催いたします。「新入生のしおり」をご持参のうえ、ご参加ください。

日時：3月4日（木）13:30～受付 14:00～説明会 場所：南高ホール

○3年生の思い出作りとして、卒業遠足を計画いたしました。

日時：3月19日（金） 場所：さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト
集合・解散場所：南高附属中学校 ※往復はクラスごとの観光バスです。
詳細につきましては、後日プリントにてお知らせいたします。